

マーケットの動き（2025年5月26日～5月30日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。週初は、米欧の関税問題の懸念が後退したことや、27日に財務省が国債発行額に関するアンケートを市場参加者に行っていたことなどが好感され、国内長期金利は低下しました。その後は、40年債入札が市場予想に対して不調に終わったことや、米国長期金利の上昇などを受けて、金利の低下幅を縮めて週を終えました。クレジット市場は、旺盛な投資家需要を背景に、需給環境は改善しました。

投資環境見通し（2025年5月）

国内長期金利はレンジ内で推移

世界景気の先行き不透明感が広がる中、日銀はインフレや為替相場の動向を注視しつつ、今後の利上げに対して慎重な姿勢を維持し、「利下げ」といった根本的な政策転換には程遠いとみられます。国内長期金利は、景気の先行き不透明感が低下要因とみられますが、景気動向次第では政府による補正予算を巡る議論が再燃する可能性もあり、レンジ内で推移するとみています。

	5月30日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.50	▲0.05	0.19	0.44	0.43
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	346.68	0.58%	▲1.29%	▲3.16%	▲2.88%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

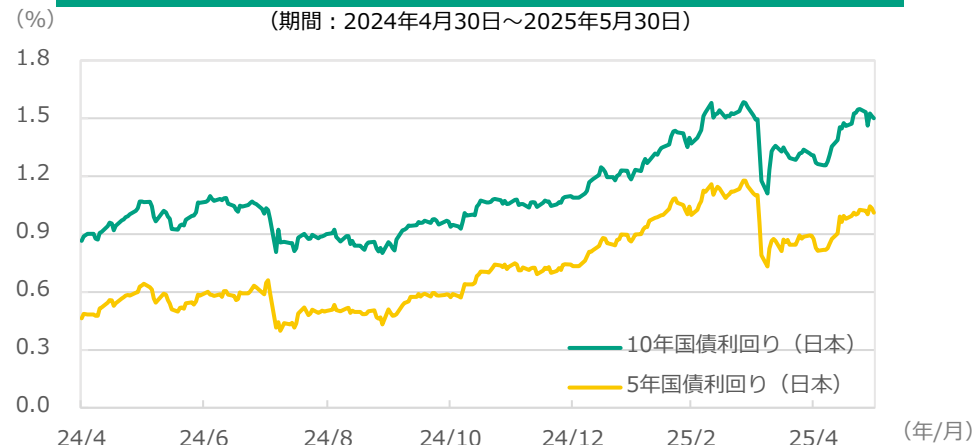
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202505_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2024年4月30日～2025年5月30日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年4月30日～2025年5月30日）



※2024年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成